



▲様々な伝の助グッズの原画など



▲イラストのほとんどが手描きだそうです。小稲さんの書斎には、マーカーや筆のほか、たくさんの種類の道具がありました。



▲自らが生まれた場所に佇む伝の助。どこか、嬉しそうな表情です。



かとう でのすけ  
**加東 伝の助**

誕生日 11月5日  
年齢 ずっと15歳前後  
趣味 多くの人にいろんなことを伝えること

ちょっと紹介

## 加東伝の助 ゆるキャラグランプリ2018へ



加東伝の助が、人気投票により順位を決定する『ゆるキャラグランプリ2018』に出場します！投票方法は、6ページをご覧ください。

問まちづくり政策部まちづくり創造課  
担当：正井愛 ☎43-0507

加東伝の助の生みの親 小稲望さんに聞く

# 『加東伝の助』誕生秘話とこれからのコト

誕生から10年を迎える加東伝の助  
加東伝の助が生まれた裏側に密着！



伝の助を生み出した当時、全国的に『ゆるキャラブーム』で、各地でかわいっこ当地キャラがたくさん登場していました。しかし、伝の助は、瞬間の可愛さで過ぎ去ってしまうようなマスコットではなく、多くの人に長く親しんでほしいという思いを込めて、他とは一風変わった『渋め』のマスコットにしようと思いました。

『加東伝の助』という名前は、かつて奥義であった釣り針の製法を、土佐（現在の高知県）で習得した後、故郷の人々

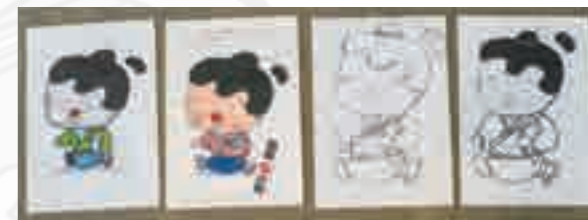
のために隠さず伝えた人物、小寺彦兵衛の活躍から『人々に加東の良いところを伝えることを助ける』という意味で伝の助と名付け、また、伝の助を多くの人に知ってもらうと同時に『加東』の地名も知ってほしいので、苗字に加東と付け、加東伝の助としました。

最初に、かとうの『か』の文字を描き、その下に顔を描いてみました。違和感のないデザインにするため、目の位置を細かく調整し、彼の髪型となった『か』の字を上手に見せるために斜めから見た構図にしてみたり、鼻を赤くして目を引くようにするなど、様々な工夫をしながら、何度も何度も納得がいくまで、描き続けてできたのが、現在の伝の助です。

加東伝の助に込めたこだわりとは？

これからの加東伝の助に願うこと

兵庫県内のキャラクターの中でいち早くSNS用の伝の助のスタンプなども作成したりしましたが、名前のとおり、加東の良いところを人々に伝える『市の顔』として、いろいろな場所や場面に登場し、多くの人に親しんでもらいたいと思っています。また、自分が描いた伝の助だけで



▲伝の助のイラスト。左から右に向かって新しいものです。顔の輪郭やパーツのバランスが微妙に変化している様子がわかります。



なく、子どもから大人まで様々な人たちによって描かれたそれぞれの伝の助がいてもいいと思います。市民のみなさんや加東市を訪れた人々にとつて身近な存在として溶け込んでこそ『市の顔』として、そして加東の良いところを伝えることを助けるマスコットとしての役割を果たしていると思うので、これからもどんどん活躍して欲しいと思っています。



▲小稲望さん

イラストはご本人の自画像。伝の助のイラストと同じ、優しいタッチが特徴です。伝の助に親しみを覚えてもらおうと様々な伝の助のイラストを無償で描き続けておられます。